

今年度 最終月の園だよりとなりました。1年間 お読み下さいましてありがとうございました。本園のホームページ上にも この巻頭言を掲載しておりますが、毎回寄せられます 貴重なお声は継続の大きな原動力となっており、様々なお立場からの視点を通して興味深く学ばされています。これからも 祈りを込め、子ども達へのまなざしを まっすぐに言葉に変えていきたいと思ひます。

さて 年長組の「卒園プログラム」が、今年も 皆様のご協力を頂き、神様のお守りの中、無事第1弾を 3月8日(土)に行うことができました。(第2弾は 明日 銚子教会へ礼拝に伺います)この日は、驚くことに、曇り・晴れ・小雨・土砂降り・みぞれ・小雪・大雪…のなんと七変化！すべての天気を経験することとなり、大人達は 空模様が変わる度に 服装やスケジュールを考えあたふたでしたが、子ども達は皆「これも神様からの贈りものだね」と 終始 明るい笑顔でした。当日の朝 東和田駐車場に集合して 大型バスの窓から お家の方へ「行ってきます！」をする際 例年は 涙ぐんだり 時には号泣したり…。でも 今年 は 予想がはずれた賑やかなスタートでした。皆で一緒に たくさん歩いて たくさん遊んで たくさん歌って たくさん食べて たくさん笑って、ケンカすることもなく 疲れて眠ることもなく、お喋りしまくりの すーっと元気な1日でした。このプログラムは、保育園を巣立つ年長組の子ども達への“はなむけ”の意味合いだけではなく 小学校という大きな世界へ向けて これから経験する新しい社会生活の“はじめの一步”として 公共のルールやマナーを知り 人としてのエチケットや社会の仕組みに気づく機会としています。そのために 団体行動をあえてとらず、子どもと先生が1対1のペアになって じっくりと十分に 関わりながら、様々な場面での実践を通して 子ども自身が体感できる保育として捉えています。キャッシュレスの傾向にある世の中だからこそ、お金のやり取りを経験させたいと思っています。今回、2,000円のお小遣いを、子ども達はいろいろと考えたり悩んだりしながら、自分で考え お買い物しました。今年のお買い物上手★チャンピオンは おつりが1円！！の 遼大君でした。「初めてお買い物が出来て嬉しかった」「好きなものを買えて楽しかった」「選ぶのが難しかった」お金を出しておつりとレシートをもらって お財布の残金を確認して…。買ったものを抱きしめ「これ宝物なんだぁ」と大事そうに見せてくれた子ども達の笑顔は、ほんとうに可愛かったです。また、自由劇場での 劇団四季によるミュージカル【王子と少年】の観劇では、初めて経験する本格的な舞台と 劇場の雰囲気、皆は目をキラキラと輝かせながら、夢中で見入っていました【王子と少年】は「トム・ソーヤの冒険」の作家マーク・トウェインの「王子と乞食」が原作です“姿かたちに惑わされずに、自らの心(本当の自分らしさ)を見つめることを大切にしよう！”というテーマが 今年の いるか組の子ども達へ贈りたい私達の想いにぴったりで、まさにこれは 神様の恵みだと感じました。今でもテーマソングを歌いながら、1週間前の舞台に想いを馳せて笑顔で分かち合っている子ども達の姿に、それぞれの心の中に刻み込まれていることを感じます。マーク・トウェインの遺した数多くの言葉の一つ『人は心で学ぶ。目や頭で学ぶのではない。』が今改めて 子ども達一人一人の笑顔を見つめっていると 保育理念にもつながり、心に染み入ります。この1年 特にクリスマス以降、喜怒哀楽を あるがままに表すことが楽しく感じるようになったいるか組の子ども達の心の成長を実感しながら、これからも どうか失敗を恐れず、おおらかに心をたくさん動かせる 豊かな人であってほしいと心から祈っています。卒園式まで あと8日。希望の光に満たされた 愛する9人の道のりの上に そして その心を引き継ぐ 在園児達の上に、神様の祝福がいつもいつも 共にありますよう 心からお祈りします。1年の歩みに感謝しつつ…

「人は うわべを見るが、主は 心を見る。(Iサムエル記 16:7)」 (石田 記)